



すぎく

杉並区立杉並第九小学校
学校だより

令和5年6月30日
第521号

不撓不屈 あきらめない強さ

校長 岩崎 吉伸

6月10日、全仏オープン車いすテニス男子シングルス決勝が行われ、小田凱人（おだときと）さんが、アルフィー・ヒュウェット選手（イギリス）をストレートで下し、史上最年少17歳1ヵ月でグランドスラム初優勝をしました。（同時に、世界ランク一位となりました。）10歳で車いすテニスを始め、わずか7年で世界の頂点に立ったのです。



小田凱人（おだときと）さんは、本気でプロサッカー選手を目指す小学生でした。けれども、9歳の時に左脚に骨肉腫を発症し、左脚の股関節と大腿骨の一部を切除し、人工関節を入れての車いす生活となりました。そのため、サッカー選手の夢は諦めざるをえなくなりました。2012年、ロンドンパラリンピックで活躍する車いすテニスの国枝慎吾さん（現在は引退）をテレビで見て大きく感動し、入院中に担当医師からもパラスポーツを勧められました。そして、車いすテニスを競技として始めることを決意しました。退院後に、10歳で本格的に車いすテニスに取り組みました。そして、わずか4年後には18歳以下の「車いすテニス世界ジュニアマスターズ」で優勝し、世界一に輝くこととなりました。小田さんは、その後も史上最年少記録を次々と更新し、昨年4月にプロ転向を果たしたばかりです。小田凱人さんは、常々「影響力のある人になりたい」と口にし、「自分と同じように10代で骨肉腫になって、『これからどうしよう』と思っている子に夢を与えたい。『夢を見る』側から、その子たちに『夢を与える』側になるためにも、もっと成長していきたい」と語っていました。

このニュースを知った時、苦難を乗り越えるアスリートの凄さを感じました。水泳の池江璃花子さんにも凄さを感じましたが、足を切断した小田凱人さんにも、それ以上の凄さを感じました。小田さんが骨肉腫を発症したのは小学校の4年生。このような強い精神がどうしたら培われるのか。

杉九の子たちにも、そんな不撓不屈の精神を身に付けさせたいです。

7月の行事予定

☀️：全校朝会

🛡️：安全指導日

SC：スクールカウンセラー来校日

○数字：学年

日	曜	SC	行事予定	日	曜	SC	行事予定
1	土		土曜授業	17	月		海の日
2	日			18	火	○	4時間授業 夏季PU教室終 給食費引落日
3	月		保護者会①② 東原中見学週間⑥始 お話お話①②	19	水		給食終 クラブ活動
4	火	○	保護者会③④	20	木		終業式 4時間授業
5	水		富士移動教室⑤始 歩行者シミュレーター①②	21	金		夏季休業日始
6	木			22	土		
7	金		富士移動教室⑤終 東原中見学週間⑥終	23	日		
8	土			24	月		夏季水泳指導始 夏休み図書館開館始 個人面談始
9	日			25	火		
10	月		4時間授業 夏季PU教室始 避難訓練	26	水		
11	火	○	4時間授業 農家学習③ お話お話③④	27	木		
12	水		委員会活動	28	金		
13	木		4時間授業 保護者会⑤⑥	29	土		
14	金		4時間授業	30	日		
15	土			31	月		夏季水泳指導終 夏休み図書館開館終 個人面談終
16	日			1	火		

7月の生活目標

人の話をしっかりと聞き、自分の考えもしっかりと伝えよう

1学期も早いもので最後の月を迎えます。新しいクラスにも慣れ、しっかりと学習している子供たちを見ると、私たち教職員も負けずに頑張ろう！という気持ちになります。授業の中には、グループやクラスで意見や考えを交わす場面もあります。また、友達同士の会話でも意見があったり、時には違ったりすることもあるのではないのでしょうか。そんな時のお助けワード「その考えもあるよね」「その気持ちわかるよ」そこから「私はこう思うんだけど、どうかな？」と言葉を重ねることで、新しい発想が出てきたり、友だちの良いところが見つかったりするかもしれませんね。お互いにプラスの方向に進むために、まずはお助けワードを試してみてもはどうでしょうか。

縦割り班活動

5月17日(水)に1回目の縦割り班活動を行いました。自己紹介や、ネームカードを書きました。

自己紹介では、他の学年と初めて会う時間だったので、どの子も緊張していた様子が見られました。ネームカードを書く時間になると、班長や副班長が下学年の様子を見て、声をかけ、手助けしている姿は、高学年としての優しさを感じ



ました。

早く同じ班の子の名前を覚えて、名前前で呼び合い、楽しく活動ができると良いです。

社会科見学（4年生）

6月13日(火)に浅草と中央防波堤に行ってきました。

浅草ではグループに分かれ、雷門や浅草寺などの浅草の観光名所をボランティアガイドの方の説明を熱心に聞きながら歩いて回り、浅草の歴史や観光名所になった背景について知ることができました。

中央防波堤ではバスに乗りながら粗大ごみ破砕処理施設や最終処分所の様子を係の方の説明を交えつつ実際に見て回り、ごみの処理の仕方についての理解を深めることができました。東京都の埋め立て地はあと50年でいっぱいになるという説明を聞き、一人一人がごみを減らすために何ができるのかを考えました。

杉九スポーツフェスティバルの保護者アンケートより（一部抜粋）

杉九スポーツフェスティバルの保護者アンケートで、特に多く寄せられた意見を紹介します。

【2部制、時間・種目数について】

- ・「観客が多く、まだ制限が必要」一方で「観覧がしやすい。」
 - ・「全ての学年を見たい、種目を増やしてほしい」、一方で「長すぎず、ちょうど良い。」
- 全体として、「観覧がしやすかった。」「今後も2部制を望む。」といった声が多く、また熱中症への心配から「2時間程度が適当」と考える意見が多かったです。

【昨年度との寄せられた意見の違い】

- ・「高学年の活躍がよかった。」・「人数制限なく、祖父母が参観できたことへの感謝」・「仮入校証がよかった。」・「マスクなく、声出し応援の解禁、笑顔が子どもたちの充実感を引き立てた。」（フェスティバルの名にふさわしい。）・「サポート隊への感謝」・「杉九エクササイズがよかった。」一方で、「準備運動はしっかりやらせたい。」

【勝敗、順位付けについて】

- ・「競わせる経験を積ませたい。」一方で、「順位付けがなく、安心して走ることができた。」

多くの貴重なご意見ありがとうございました。保護者の皆様からのお声は、次年度実施の参考とし、杉九スポーツフェスティバルのよりよい姿に向け、さらに工夫をしていきます。

5年3組担任の小松原もなみ教諭が懐妊しました。出産は2月上旬の予定です。今後、出産休暇の期間等が決まりましたら、学校だより等でお知らせします。おめでとうございます。